

日 時：平成 29 年 6 月 1 日（木）18 時 30 分～19 時 55 分

場 所：鳥海会館

対象地区：沖館

参加人数：10 名

■意見交換

内 容
<p>○今後の建設予定施設について</p> <p>(市民から)</p> <p>合併特例債を活用した本庁舎以外に建設予定となっている施設はあるのか。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none">・体育館を予定していた。実施設計までは終わっているが、東京オリンピックやパラリンピック、震災の復興などの影響により建設費が高騰しており、合併特例債の枠の中では難しくなり、昨年度において将来の計画から外している。一方、各町会の集会施設を合併特例債で充当することで計画していたが、別のわずかではあるが有利な起債を充当できる可能性があり、そちらで集会施設を改築することが出来れば、枠が空いてくるので、補助事業なども活用しながら、議会の了解を得て改めて検討することになる。・合併当時は、230 億円ほどの借金があったが、現在は 110 億円ほどに減っており、貯金も貯まってきている。いわゆる箱物と悪いイメージで言われるが、必要な施設は有利な財源が使えるうちに、健全な財政を維持することを前提に、将来的な投資として進めなければならない。 <p>(市民から)</p> <p>体育館に関連して、国体が青森県で開催されるようだが平川市は何の種目の開催地となるのか。</p> <p>(市から)</p> <ul style="list-style-type: none">・今回もウェイトリフティングに申し込みをしている。昔と必要な施設が違っていて、サブアリーナも必要となっており、新体育館の設計には、そちらも見込んでいる。早めに建設出来ればと考えている。
<p>○竹館小学校の統廃合について</p> <p>(市民から)</p> <p>沖館地区は竹館小学校学区であるが、沖館地区から今年の入学者は非常に少なかった。将来における統廃合計画は、現時点であるのか。</p> <p>(市から)</p>

- ・現時点ではない。ただし、これからの子ども達の人数がどれだけ減っていくのか確認しながら考えていかなければならないものではある。市内において人数の減少が目立つ学校は碓ヶ関、大坊、松崎であるが、これらについても現在のところ統廃合の予定はない。
- ・この話題があがった時にお話するのが、広船小学校の件である。当初の地域の意見は、この地区に絶対、小学校を残さなければならないとしていたが、児童の数が減っていくとご両親の考え方が変わってきた。部活動等を人数が多いところでやらせてあげたいと地域の声が変わってきて、統合に至った経緯がある。このように地域の声を大事にして検討していきたいと考えている。

(市民から)

学校の統廃合に関連して、統廃合というと直ぐに小学校が話題になるが、中学校の人数も減ってきているので中学校の統合が先だと考える。小学校が統合されると中学校にあがるときに東西の中学校に分かれる可能性があり、親も大変だと思うので平賀中学校として1校でもよいのではと考える。

(市から)

- ・この場で是非についてのコメントはできないが、教育委員会にそのような考えもあることを伝える。

○空家について

(市民から)

沖館地区にも空家があり、空家になるにはその家々の事情はあると思うが、そのままにしておくことも出来ないのも、市がそれらを購入し冬期間は雪置き場として活用させるといったことは出来ないのか。

(市から)

- ・空家問題に関しては、協議会を開く等として調査を進めているところである。その中で有効活用できないかということも検討している。お話をあつた雪置き場の件も案の中にあつて検討しているが、雪置き場は周りへの影響もあるので、簡単にはいかないと思う。
- ・空家の取得、建物の解体これらを皆様の税金を使うことはどうなのかというところを検討している。あくまでも所有者があるものなので、基本的には所有者が対応すべきものとしている。ただし、所有者が事情により対応できないものを危険なまま放置することはできないので、それらについての対応を調査・検討している。

○納税組合への助成について

(市民から)

納税組合は、市の収納に対して貢献してきていると思うが、今年度からコンビニ収納をはじめること聞いているが、それを実施すれば手数料としてコンビニに市から支払いが

行われると思うが、同様に納税組合へ助成金が難しいのであれば手数料として支払いはできないものか。財源がなくなり納税組合の活動は非常に厳しいものになってきているので、何かしら手助けしてもらえる方策はないものか。納税組合という体制に問題があるならば、体制を変えてもいいとも考える。

(市から)

- ・納税組合には大変お世話になっているところだが、納税組合に対しての助成金が問題になったと記憶している。助成金ではなく手数料として支払いができるのか確認してお知らせする。

○市議会議員の政務活動費について

(市民から)

平川市の市議会議員にも政務活動費というものはあるのか。盛んにニュースを賑わしている問題である。

(市から)

- ・平川市ではない。近隣の市町村では、弘前市と黒石市にはある。

○融雪溝の設置について

(市民から)

各地区には、融雪溝があるが沖館地区にはない。今後出来るという話も聞いたことがない。この地区は狭い道路が多く融雪溝があれば大変助かると思うが計画などはあるのか。

(市から)

- ・この件については、前回のまちづくり懇談会でも話題となった。平川市の融雪溝の全体計画を調査したところ、この地区は水源がないということで難しいものとの結論が出ている。水源が無ければ水があるところからポンプアップをするという考えもあるが、冬期間に水路にある程度の水量があれば可能だが、この地区にはない。

(市民から)

新堰に水を流すようにしてもらえれば可能なのではないか。

(市から)

- ・水利権の問題から平川から水を得ることは出来ない。仮に、水利権を得られたとしても平川から新堰までの途中の管理をどうするのかという問題もある。
- ・市としても側溝を整備するところには、可能なのであれば融雪溝を整備したいとの思いはあるが、水の問題、管理や受益者負担金などの条件が揃わないことには、整備は出来ない。

(市民から)

以前、津軽平川土地改良区に相談したことがあるが、中間の乳井・薬師堂部分の管理が出来ないことから無理だとのことであった。融雪溝の設置は出来ないと思うので、排雪、拡幅の頻度を多くしてもらいたい。

(市から)

- ・定期的な実施は約束出来ないが、パトロールや情報提供により現場を確認しながら実施する。

○平川ねぶたまつりの開催時期について

(市民から)

世界一のねぶたを作り直すと聞いている。折角作り直すのであれば、祭りの開催時期についても見直ししてはどうか。弘前市と青森市と同時期であり、そちらに行った人は平川市には見に来られない。祭り期間も2日と短く、雨が降れば延期ではなく中止となる。黒石市は早くやるし、五所川原市は遅くやっている。このように時期をずらすことは出来ないものか。

(市から)

- ・ねぶたについては、製作してから20年も経っており、安全性を考慮して、補助金を活用して作り直す。平川市のねぶたまつりは、好評を得ており、多くの方に見てもらいたいとの気持ちはある。開催時期については、各団体で組織する協議会で決定されているもので、そちらの意見もある。開催日時は、平賀地区、尾上地区、各団体の村周りもあるので、変更は難しいと思うが、このような意見があったことは伝える。
- ・ねぶた団体からコース延長の要望はある。電線の地中化が進めばマックスバリュ側へ向かいたいとのものである。これには警察からの指摘事項もあり、それらがクリアできるのであれば実現もあるのかと思う。10市大祭典を平川市では33年度を予定しているので、それも踏まえマックスバリュへ向かうバイパスの利用は検討している。

○リンゴの豊作による税収増加について

(市民から)

- ・一昨年はリンゴ高値であったが、市の税収はどれくらい伸びているものか。

(市から)

- ・正確な数値は把握してないが、確かに伸びている。税収額ではないが、市の農産物の生産額の推計をお知らせする。リンゴ95億5千500万円、米17億6千600万円、野菜14億4千500万円となっている。

○まちづくり懇談会の参加者について

(市民から)

本日の沖館地区の参加者は10名だが、この地区だけ参加者が少ないのか、他の地区での参加人数はどうなっているのか。

(市から)

・今年度に既に開催した杉館地区の参加者は24名、館山・松崎・松館は13名、苗生松・西の平は14名の参加者となっていた。昨年度は、猛吹雪の日に開催したこともあり、その日は3名であった。沖館地区は、リンゴの実選りで忙しい時期なので開催日を調整する必要があったかもしれない。

(市民から)

時期は今でもいいのだが開催時間をもっと遅くやってくれば、参加する人が増えるのかもしれない。

○国民健康保険税について

(市民から)

年々の所得によって納める額が違うが、ここ最近では、リンゴが高値で納める額も高くなっている。税額が低い事もあったが、多く集めた時と少なく集めたときの、使い方はどう違ってくるのか。

(市から)

・基金で運用しているのので、税額が少ない時には基金から繰り入れし、多い時には基金として積み立てることになる。
・一昨年に新薬が出たことなどの影響により、支給額が大幅に増えており、増額の検討が必要となってきている。

○新庁舎について

(市民から)

旧診療所と現在の敷地の段差の解消はされるのか。また、現在の庁舎がある場所はどのように使われるのか。

(市から)

・段差については、現在のままで進めることとしている。庁舎跡地の利用方法としては、駐車場とするのか広場にするのかという活用方法を検討している。

(市民から)

新庁舎が出来れば、すべての部署が入るのか。

(市から)

- ・健康センターも活用することとしている。将来的に人口減少が進み、職員の人数も減ると思うので、段階的に新庁舎へ集約することとしている。

(市民から)

新庁舎は50年位は使えるのか。また、何階建てになるのか。

(市から)

- ・時々で大規模改修をし長寿命化をはかり、50年は使えるようにしたいと考える。
- ・通常の窓口は、1階で対応できるものにして、2階建て高くても3階建てまでに抑えたいと考えている。